

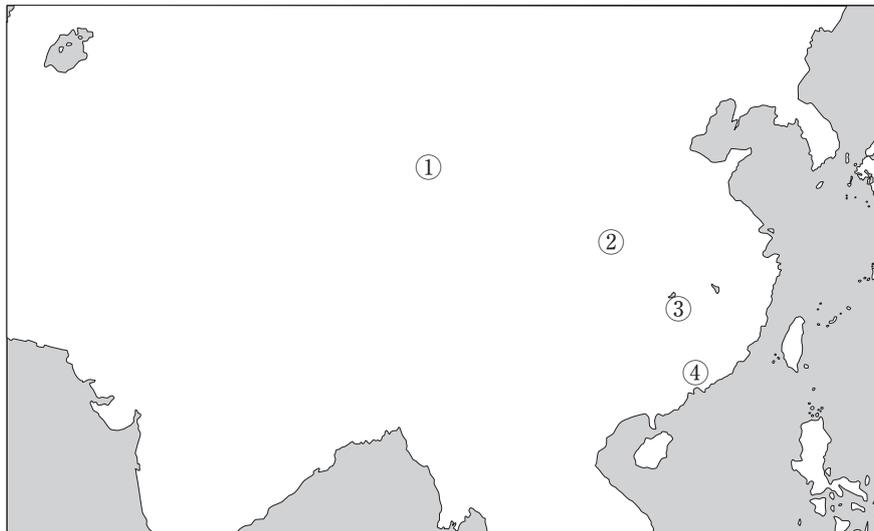
# 世界史

【第1問】 秦・漢帝国に関する次の文章を読むとともに、地図【I】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

紀元前4世紀、新しい政治制度や技術を取り入れた秦は、(a)「戦国の七雄」の一国として強大化した。秦の（ア）は、(b)全国で中央集権的な地方統治制度を実施した。しかし、急激な改革が反発をまねき、（ア）の死後まもなく東方各地で反乱がおり、秦は滅亡した。その後の混乱で、楚の名門出身の（イ）を破った農民出身の（ウ）が漢王朝を開き、高祖となった。高祖は新都(c)長安を建設し、統一以前の秦の領域を直接支配した。

前2世紀後半に即位した（エ）は、匈奴を撃退し、諸王の実権を奪って、(d)南越国や衛氏朝鮮を滅ぼし、漢の支配下に入れた。また、（オ）を大月氏に派遣したことをきっかけに、中央アジアの交通路をおさえた。（エ）は、経済面においても、塩・鉄の専売や(e)物価調整策を実施して国内の統合を試みた。

地図【I】



問1 下線部(a)「戦国の七雄」に含まれない語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①燕
- ②齊
- ③趙
- ④韓
- ⑤殷
- ⑥魏

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①武帝
- ②始皇帝
- ③光武帝
- ④孝文帝

問3 下線部(b)の中央集権的な地方統治制度を説明する語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①合従策
- ②連衡策
- ③郡県制
- ④地丁銀制

問4 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①項羽
- ②陳勝
- ③張騫
- ④劉邦
- ⑤劉秀
- ⑥班超

問5 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①項羽
- ②陳勝
- ③張騫
- ④劉邦
- ⑤劉秀
- ⑥班超

問6 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①武帝
- ②始皇帝
- ③光武帝
- ④孝文帝

問7 下線部(c)長安の位置として最も適当なものを、地図【I】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問8 下線部(d)南越国や衛氏朝鮮に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：南越国は、秦末の混乱期に独立した国家であり、広東・広西・ベトナム北部を中心に勢力を及ぼした。

Y：衛氏朝鮮は、衛氏が朝鮮の南東部に建てた国家である。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問9 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①項羽
- ②陳勝
- ③張騫
- ④劉邦
- ⑤劉秀
- ⑥班超

問10 下線部(e)物価調整策に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：各地の特産品を国家が他の地方へ輸出して物価を均一にする、平準を実施した。

Y：貯蔵した産物の価格が上がると売り出し、下がると買い入れる、均輸を実施した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

【第2問】近世ヨーロッパにおけるオランダ・イギリス・フランスに関する次の文章を読むとともに、地図【Ⅱ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

17世紀のオランダは、(a)東インド会社などをおもな担い手とし、カリブ海・アフリカ南部・アジアなどに進出した。アジアでは、インドネシアにおいて、多数のイギリス商館員らをオランダ人が殺害する（ア）が発生し、イギリスを東南アジアから駆逐したことで、(b)バタヴィアを拠点に香辛料貿易を独占した。

イギリスでは、国王チャールズ1世が(c)王権神授説を唱え、絶対君主として国を統治したために、議会と対立した。国王は11年間にわたって議会を開かなかったが、1640年に招集された議会において、国王の権力制約が決議されると、国王と議会の対立が高まり、(d)1642年には内戦がはじまった。このころ、思想家（イ）は『リヴァイアサン』を著し、無政府状態の混乱の中での絶対的権力の必要性を説いた。イギリスでは、オランダの経済的覇権に対抗するため、（ウ）にもとづいて（エ）が制定され、これが3次にわたる（オ）のきっかけとなった。

17世紀初めのフランスは、宗教対立によって動揺した国王と政府の権威を確立することが最大の課題であった。国王ルイ13世は、宰相（カ）とともに、貴族の軍事力を解体し、王権への制約となっていた議会を停止した。ルイ14世が幼少で即位すると、その初期に国政を率いた（キ）が中央集権化をさらに進め、貴族や地方の不満は高まっていった。

地図【Ⅱ】



問1 下線部(a)東インド会社に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：東インド会社は貿易特許会社である。

Y：オランダ東インド会社は18世紀末に解散した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問2 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①名誉革命
- ②フロンドの乱
- ③七年戦争
- ④アンボイナ事件

問3 下線部(b)バタヴィアの位置として最も適当なものを、地図【Ⅱ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問4 下線部(c)に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：対立したイギリス議会は、権利の請願を提出し、国王権力の縮小を求めた。

Y：王権神授説によれば、国王の権力は、神聖ローマ皇帝やローマ教皇からも干渉されない。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(d)1642年には内戦がはじまったに関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：1649年にはチャールズ1世が処刑されたことにより、体制は共和政へと移行した。

Y：議会派のなかに迫害されていたピューリタンが多かったことから、ピューリタン革命とも呼ばれる。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ロック
- ②カント
- ③ホッブズ
- ④グロティウス

問7 空欄（ウ）と空欄（エ）に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①ウ：経験主義 エ：審査法
- ②ウ：経験主義 エ：航海法
- ③ウ：重商主義 エ：審査法
- ④ウ：重商主義 エ：航海法

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①三十年戦争
- ②ユグノー戦争
- ③オランダ独立戦争
- ④英蘭戦争

問9 空欄（カ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①モリエール
- ②リシュリユー
- ③コルベール
- ④マザラン
- ⑤ウォルポール
- ⑥ケブラー

問10 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から⑥の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①モリエール
- ②リシュリユー
- ③コルベール
- ④マザラン
- ⑤ウォルポール
- ⑥ケブラー

【第3問】アメリカ合衆国の発展に関する次の文章を読むとともに、地図【Ⅲ】を参照し、下の問い（問1～10）に答えなさい。

独立後のアメリカ合衆国は、（ア）から(a)ルイジアナを購入し、その後に（イ）からフロリダを購入したことで、その領土は拡大した。19世紀半ばにも、(b)アメリカ合衆国の西方への膨張は続き、合衆国の領土は太平洋にまで及んだ。合衆国は太平洋方面への関心をさらに強め、中国と正式に国交を開いたり、(c)ペリーを日本に派遣して日本の開国を実現したりした。

西方への拡大は、奴隷制問題をめぐる国内対立を強めることとなった。北部では人道主義の立場から新州での奴隷制に反対し、南部では奴隷制を認めるよう求めた。この頃、奴隷制を批判した（ウ）による（エ）がベストセラーになったが、北部の反対は奴隷制自体に向けられたものであり、黒人に対する差別意識は存在していた。

奴隷制問題は南北の分断のみならず、南部の（オ）党の分裂ももたらした。1860年に大統領選で勝利した(d)リンカーンは、南部の分離を阻止しようとしたが、その後は(e)南北戦争に発展した。

地図【Ⅲ】



問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②スペイン
- ③メキシコ
- ④フランス

問2 下線部(a)に関連して、現在のルイジアナ州の位置として最も適当なものを、地図【Ⅲ】の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

問3 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①イギリス
- ②スペイン
- ③メキシコ
- ④フランス

問4 下線部(b)アメリカ合衆国の西方への膨張に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：19世紀を通じて合衆国がおこなった西部への拡大と人口移動は、西漸運動と呼ばれる。  
Y：「明白なる運命」というスローガンのもと、テキサスを併合した。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(c)に関する説明XとYについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ペリー来航を機に、1854年に、日米修好通商条約が締結された。  
Y：1858年には、不平等条約である日米和親条約が結ばれた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問6 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①トルストイ
- ②ストウ
- ③ゾラ
- ④スタンダール

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①『戦争と平和』
- ②『アンクル＝トムの小屋』
- ③『居酒屋』
- ④『赤と黒』

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①共和
- ②社会民主
- ③シン＝フェイン
- ④民主

問9 下線部(d)リンカンに関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：リンカンが奴隷解放宣言を発すると、南北戦争がはじまった。

Y：「人民の、人民による、人民のための政治」を訴えた。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

問10 下線部(e)南北戦争に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：南部のアメリカ合衆国と北部のアメリカ連合国の戦いである。

Y：この戦争の死者数は60万人以上にのぼり、のちの第一次・第二次世界大戦におけるアメリカ人の戦死者数の合計を大きく上回った。

- ① X：正 Y：正
- ② X：正 Y：誤
- ③ X：誤 Y：正
- ④ X：誤 Y：誤

【第4問】南アジア・東南アジアの植民地化に関する次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

17～18世紀の南アジアでは、ヨーロッパの商業勢力の活動が本格化した。ヨーロッパ各国の東インド会社のうち、イギリス東インド会社は、インド内部において支配を広げた。東部では徴税権を獲得し、南部での4次にわたるマイソール王国との戦争や、西部での3次にわたる（ア）、西北部での2次にわたる（イ）にも、それぞれ勝利し、一部を除いて直接支配の植民地化を完成させた。植民地統治下でのイギリス東インド会社の最大の目的は、より多くの富を効率よく徴収するための(a)徴税制度を実施することであった。なかでも最大の収入源となったのは、（ウ）であった。イギリスによるインドの直接統治には不満がつのり、19世紀後半には、北インドを中心に各地で(b)インド人の傭兵による大反乱が起こった。

東南アジアにおいても、ヨーロッパ諸勢力が領土の獲得を目指すようになった。マレー半島にはイギリスが進出し、(c)海峡植民地に編成した。フィリピンには、16世紀以来スペインが進出し、住民を（エ）に強制改宗させた。ベトナムでは、16世紀以降、（オ）の名目的な支配のもとで政治勢力が南北に分裂していたが、圧政に苦しむ農民の不満を背景に、南北統一がはかられた。これに対し、（カ）が外国人宣教師らの援助を受け、全土を統一した。19世紀半ばになると、（キ）がベトナムへの軍事介入を開始し、1883年には全土を支配下においた。

問1 空欄（ア）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カーナティック戦争
- ②シク戦争
- ③プラッシーの戦い
- ④マラーター戦争

問2 空欄（イ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①カーナティック戦争
- ②シク戦争
- ③プラッシーの戦い
- ④マラーター戦争

問3 空欄（ウ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①地税
- ②結婚税
- ③死亡税
- ④パン焼きかまどや水車の使用料

問4 下線部(a)徴税制度に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：ベンガル管区などでは、政府と農民とのあいだを仲介するものに徴税を任せ、仲介者に私的土地所有権を与える、ザミンダーリー制を実施した。

Y：南部では、国家的土地所有のもとで、農民に土地保有権を与えて徴税をおこなう、ライヤットワーリー制を実施した。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問5 下線部(b)インド人の傭兵による大反乱に関する説明 X と Y について、その正誤の組合せとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

X：反乱の直接のきっかけは、口で噛み切る必要のある新式銃の弾薬包にあった。

Y：インド人の傭兵は、シパーヒーと呼ばれる。

① X：正 Y：正

② X：正 Y：誤

③ X：誤 Y：正

④ X：誤 Y：誤

問6 下線部(c)海峡植民地に関して、その編成に含まれないものとして最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① シンガポール

② マラッカ

③ ペナン

④ バンコク

問7 空欄（エ）に入る語句として最も適切なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① ヒンドゥー教

② カトリック

③ プロテスタント

④ イギリス国教会

問8 空欄（オ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①阮朝
- ②コンバウン朝
- ③ラタナコーシン朝
- ④黎朝

問9 空欄（カ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①チュラロンコン
- ②阮福暎
- ③林則徐
- ④マカートニー

問10 空欄（キ）に入る語句として最も適当なものを、次の①から④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ①フランス
- ②イタリア
- ③オランダ
- ④ポルトガル